



お口の健康は歯周病予防が一番大切！

各種保険取扱医院

予防歯科

予防歯科では患者様のお口の状態をできるだけ長く健康に維持していただく為に、定期的に歯のクリーニングから特に歯ぐきケアを中心に専用の口腔洗浄剤（コンクール）を使用した専門的な予防をご提供しております。特にハブラシ方法についてよく指導させていただきます。患者様個人個人のお口の状態に合わせた予防プランをご提供しています。

次のような患者様には予防歯科が最適です。

- 1 虫歯治療が終了した患者様（虫歯予防）
- 2 歯周治療が終了した患者様（歯周病予防）
- 3 歯列矯正中の患者様
- 4 歯ぐき（歯周組織）ケア中心の治療を希望される患者様
- 5 歯をいじられたくないが歯ぐき（歯周組織）が心配な患者様
- 6 定期的にブラッシング指導、歯ぐきの状態のチェック、口腔ケアを希望の患者様
- 7 お子様のフッ素を中心とした口腔ケア

こわい歯周病のステージ

症状

処置

歯周病初期

ブラッシング時に少量の出血する
口臭が時々気になる
食事中に物が時々詰まる

予防歯科を年に2、3回受診して、次の段階に進ませないようにします。

歯周病中等度

この段階に一番多くの患者さんがいます。
歯周病初期症状に加えて、
歯肉に時々腫れがある
食事中に物が詰まりやすくなった
歯を磨いた後も口臭が気になる

歯周病の治療を行います。
その後にメンテナンスとして
予防歯科を月1回受診して次の
段階に進ませないようにします。

歯周病末期

咬めない、歯がぐらぐらする
時々歯ぐきが腫れ上がる
歯ぐきから膿が出る

保存できる歯を選定して早めに
歯周病の治療を行います。

患者様の歯周病に対するリスクをチェック

歯槽骨と呼ばれる歯ぐきや歯を支える大事な骨がどのくらい減ってしまっているかを知り、歯周病に対するリスクが高い場合は早めに予防を行う事が大切です



歯周病初期



歯周病初期と中等度の患者さんのお写真です。クリーニング後とても綺麗になりましたが、レントゲン写真では○で囲まれた部分の空洞（歯周ポケット）の大きさに違いがあります。やはり中等度の患者様では歯周ポケットの中にプラークがすぐたまりやすく、重度の歯周病にならないように注意が必要です。常に予防のメンテナンスを受けておくことで安心できます。

歯周病中等度



それでは歯周病の原因である歯周病菌や歯周組織の改善を行う為には

- 1 定期的な専門家（歯科医院にて歯科医師や予防に従事している歯科衛生士）によるチェックをしてもらい、歯ぐきケアやクリーニングを行い、正しいハブラシ方法を身につけていただきます。
- 2 患者様の状態にもよりますが、長期間歯科医院にてクリーニングなどをしてない場合、歯石が歯周組織の奥深くまで沈着しています。それによって歯ぐきが引き締まらないので、表面的なクリーニングではなく、歯ぐきの奥にある歯石やプラークの除去を行います。専門的な歯周病の治療を行う事をお勧め致します。
- 3 各年齢や歯周病の軽度、中程度、重度にあわせた治療プランに従って予防をおこない、歯周病が進行しないように定期的に歯科医院にて予防歯科を受診する。
- 4 患者さん自身にも生活習慣（一日のハブラシ時間、回数、喫煙、間食の摂取、睡眠時間）などをできる限り改善していただき歯周組織も健康に保っていただきます。